

お宿紹介

① みなと観光ホテル
029-262-4118

那珂湊漁港前に建つ和風旅館。朝の水揚げ風景やおさかな市場での買い物も楽しめる。とれたて海の幸を味わえる入浴付き昼食プランもご用意。

② 春日ホテル
029-262-3164

「レストラン浜辺」では那珂湊の四季折々の地魚料理を堪能できる。料理といっしょに味わえるソムリエ厳選の世界のワインも楽しみのひとつ。

③ 藤屋ホテル
029-262-4141

湊公園のたもとに位置し、海と歴史の香りに包まれた憩いの宿。市場直送の新鮮な魚料理が自慢で、研修やスポーツ合宿にも利用可能。

④ 松屋旅館
029-262-4173

嘉永3年創業の老舗宿。落ち着いた家庭的な宿で、ご年配の方も安心して滞在できるよう工夫。人に優しい思いやりの宿。

那珂湊地区歴史探訪



⑧ 那珂湊おさかな市場

新鮮でおいしい魚介が味わえる。茨城を代表する観光スポット。那珂湊漁港に水揚げされた魚や海産物の量販店が並び、お食事処も揃う。

⑦ まちかど博物館 (あざ川)

和菓子を扱う店舗・住居は明治時代に建てられ趣きがあり、足を踏み入れた途端、昔にタイムスリップしたよう。

⑥ 湊公園・湊御殿の松

水戸藩2代藩主徳川光圀の別荘跡。建物は元治甲子の乱(1864)で焼失されたが、今は海を眼下に見渡す風光明媚な公園として親しまれている。公園内には須磨明石から移植した樹齢300年以上の見事な黒松(市指定天然記念物)が生育。

⑤ まちかど博物館 (稲葉屋)

明治20年頃創業の昔ながらの菓子屋。黒砂糖を使った手作り黒飴「反射炉の鉄砲玉」が人気。

④ 反射炉跡

高熱で大量の鉄を溶解する反射炉。徳川齊昭のもと大砲鑄造のため1854(安政元)年～1857(安政4)年にかけて2炉建設された。元治甲子の乱で破壊され昭和12年に復元。

② まちかど博物館 (明石屋)

明治4年創業。住居部分は明治時代、店舗部分は大正初期の建築。店舗にはうちわやカレンダーが並び、明治から大正にかけて制作された銅版画や木版画を所蔵。

③ 山上門

市指定有形文化財。もと水戸藩小石川屋敷(東京都文京区)の正門脇に、勅使奉迎のための門として建築されたものを当地に移築。

① ひたちなか海浜鉄道

大正2年開業の湊鉄道時代から立つ那珂湊駅。瓦屋根がシンボルのレトロ感たようローカル線駅舎。駅や沿線風景に似合う旧型のディーゼルカーも人気。



茨城県ひたちなか市観光協会
TEL.029-273-0116